福島原発事故から９年！

2011 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災によって引き起こされた東京電力福島第一原発の事故。原子炉建屋から空高く立ち上った、水蒸気爆発の白煙。核燃料を冷やすためのヘリコプターや消防車からの決死の注水。私たちはその状況をただただ不安で見守りました。不安は国内にとどまらず、世界中がかたずをのんで見守りました。

変わらないこと

ところが日本政府はあの事故後すべて止まっていた原発を、2015 年 7 月に九州電力川内原発を再稼働したのをはじめ、次々と再稼働させ相変わらず原発依存を続けています。エネルギー基本政策でも 2030 年時点でも電源構成比の 20~22%を原発で賄うとしており（再生可能エネルギーは 22~24%）、この先も**変わらず原発推進**を決めています。さらに温暖化対策を名目に小型原子炉の開発を目指すなど**あの事故はなかったかのような政策**です。

一方**福島の方々の苦悩はこの 9 年変わらず続いています**。収束の見えないあの原発事故の後始末。驚くべき高線量での避難指示解除の後は「自主避難」者への冷たい仕打ち・・・。

さらに核のゴミ処理は見通せず、**原発の「トイレなきマンション」状態も変わっていません。**

それから９年で変わったこと

ドイツは原発の危険性を直視し、いち早く脱原発政策にかじを切り、2022 年までの**脱原発**を目指しています。**台湾も** 2025 年までの**脱原発**を目指しています。

また、福島事故後ふくれ上がった安全対策費のため原発のコストは経済的に見合わないものとなり、安倍政権が国を挙げて推進した**原発の輸出は**、イギリス、ベトナム、リトアニア、トルコなど**すべてとん挫**しました。

代わって今各国が取り組みを強化しているのは太陽光・風力などの再生可能エネルギーの普及です。そのコストはここ数年の技術革新を受け 5 割から 7 割も下がってきているのです。2018 年 2 月の外務省気候変動に関する有識者会合エネルギーに関する提言に引用されている資料によれば、2040 年の予想で、世界では全電源構成の 66%を再生可能エネルギー（水力発電を含む）で賄うとされています（原発は 3%）。まさに**今や世界の流れは再生可能エネルギーの推進**、なのです。こうした状況を踏まえ、同提言の文書では「原発はすでに気候変動対策の切り札ではなくなっている。電力の安定供給のために『ベースロード電源』として原子力や石炭が必要だという考え方はすでに過去のものになっている。」と述べています。

国民の意識も変わりました。原発への不安はどの世論調査でも 6 割以上が抱くようになっています。

変えなくてはいけないこと

原発推進を進める政府・与党を変えて、
再生可能エネルギー普及を進める政府を作りましょう！

Bye-Bye 原発/国分寺の会

「原発やめよう」散歩ウォーク

日時　2020年3月15日（日）午後1時

本多公民館実習室3に集合

準備をして散歩に出かけましょう！
ゼッケンなど用意しますが、それぞれアピールしたいものを持参されてもかまいません。

＊コース＊（予定）

本多公民館　→　国分寺北口商店街　→　JR 国分寺駅コンコース　→　JR 国分寺駅南口　→　花沢橋　→　日立中央研究所東側の道路　→　孫の湯通り　→　府中街道　→　JR 西国分寺駅南口

所要時間は1時間程度です

忘れてはいけない！　原発事故から9年、その被害はまだ続いています

2011年3月11日の東北大震災に伴って起きた、東京電力福島第一原発事故から9年がたちます。原子炉建屋から立ち上る白煙、核燃料を冷やすためのヘリコプターや消防車からの注水。そうした映像をみながらこれからどうなってしまうのだろうと不安に駆られていた方がほとんどだったと思います。その後わかってきたのは、あの事故で核爆発が避けられたのはほんの偶然でしかなかったということです。

しかもあの事故を受けて原発廃止を決めたドイツの英断に比べ、日本政府、与党は原発を再稼働させ、未だに原発推進を目指しています。このままではまたいつどこの原発で事故が起きるかもわかりません。相変わらず危険な事態は続いているのです。

でも東京に住み日々に追われる私たちはその恐ろしさや、いまだに続く福島の被災者の皆さんの苦難を忘れてしまいがちです。

そこで今一度広く市民の皆様に原発の危険性を思い起こしていただくべく、上記のような「原発やめよう」散歩を企画しました。デモではありませんので、それぞれが思い思いのゼッケンを身につけて、市内の歩道を三々五々歩こうというものです。「お散歩」がなるべく多くの皆様の目に留まるよう、一応上記のコースを考えておりますが、途中参加、途中離脱、または独自のコースを歩く、も自由です。

いっしょに歩きましょう！

Bye-Bye 原発/国分寺の会